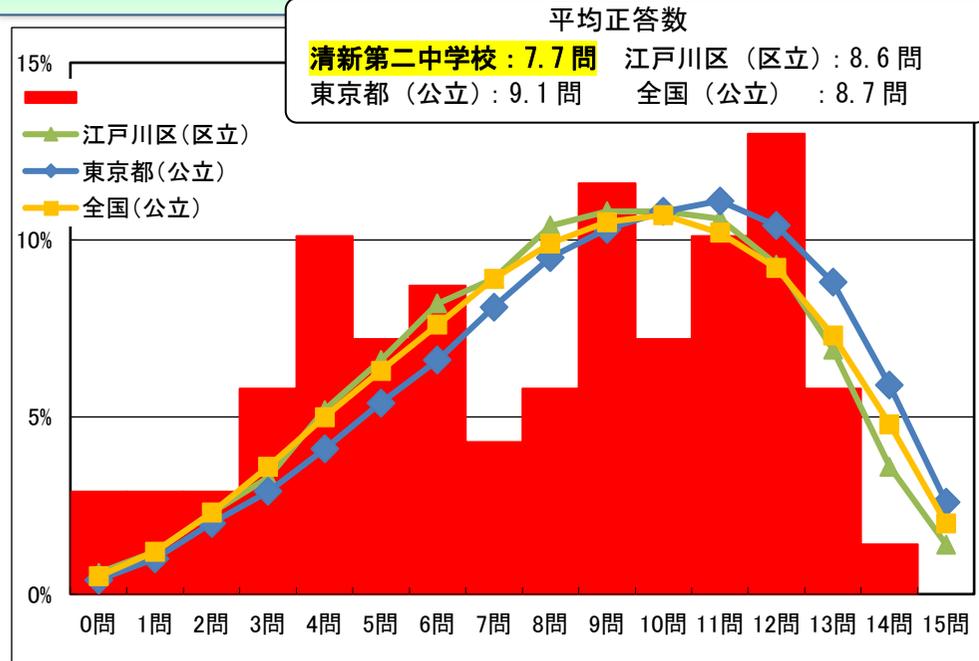
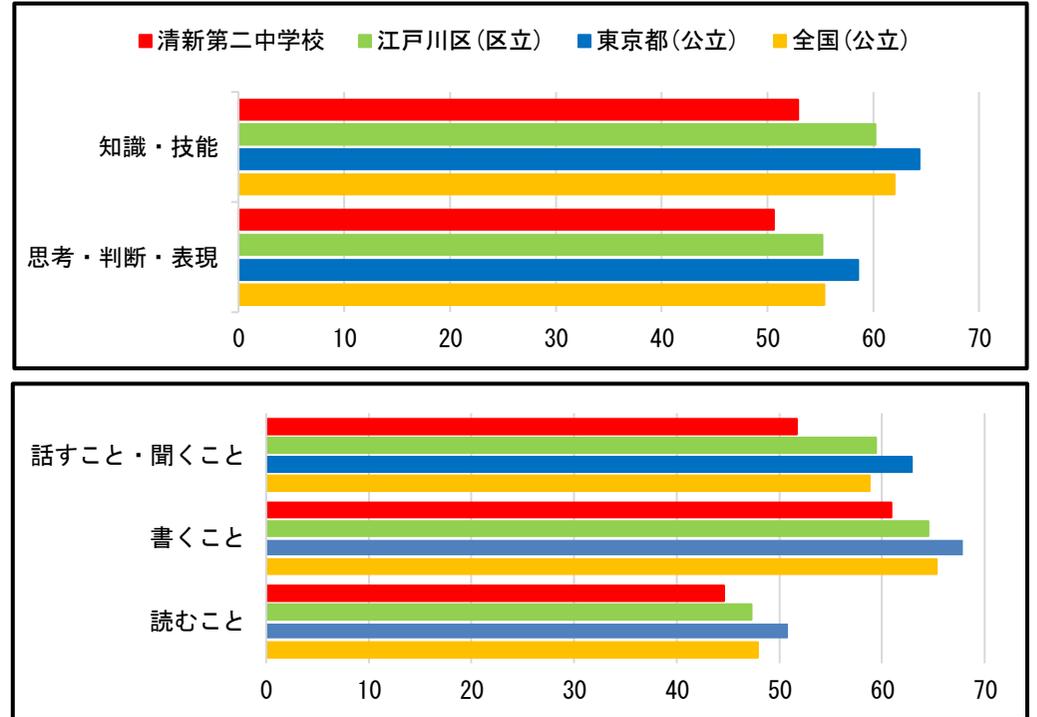


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 清新第二中学校

## 正答数分布



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
清新第二中学校	20.2	28.9	10.1	40.5
江戸川区（区立）	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都（公立）	27.7	32.2	17.6	22.5
全国（公立）	23.3	31.4	18.8	26.5

## 【平均正答率の差】

清新第二中学校	51%
江戸川区（区立）	57%
東京都（公立）	61%
全国（公立）	58.1%
都との差	10ポイント

## 【分析結果と授業改善に向けて】

A層B層が東京都と比べて低く、D層は東京都と比較すると倍近くいることがわかる。基礎的な語彙力がなく、問題の意図や言葉の意味がわからない生徒もいるので、日頃の授業でわからない単語を調べさせるようにするとともに、類義語や対義語の学習にも力もいれていく。平均正答率も都と10ポイントの差がついており、時間内に問題を解くことに慣れていない部分もあると考えられる。3年生は都立入試の模擬問題などにおいて時間を意識させて解かせる授業をしていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。